平成 20 年 11 月 17 日
日本環境効率フォーラム

環境効率アワード2008決定のお知らせ

日本環境効率フォーラムは、このたび環境効率アワード２００８の受賞企業を決定いたしました。審査の結果、経済産業省産業技術環境局長賞に富士ゼロックス株式会社の「サービス･ソリューション商品の環境訴求活動」が決定した他、日本環境効率フォーラム会長賞２件、奨励賞２件、特別賞４件を選出しました。

《詳　細》

【環境効率アワード2008の概要】

日本環境効率フォーラムでは、経済産業省の後援を受けて、平成 17 年度より環境効率アワードを創設しました。環境効率(eco-efficiency)の概念は経済性の向上を通じて環境負荷の削減を目指すためのもので、製品の機能・性能の向上や企業の財務パフォーマンスの向上と同時に環境負荷を削減する尺度であり、産業界の様々な場面で適用され始めています。このような状況を踏まえて、活用実績やその発展と普及に特に優れた成果をあげたと認められる企業等を表彰するものです。

【表彰結果の概要】

(1) 経済産業省産業技術環境局長賞

普及促進部門	富士ゼロックス株式会社 「サービス・ソリューション商品の環境訴求活動」

(2) 日本環境効率フォーラム会長賞

製品活動部門	東芝ライテック株式会社 「白熱電球代替を推進する環境効率の高い照明機器」

企業活動部門	積水化学工業株式会社 「環境経営指標エコバリューインデックスの活用」

(3) 奨励賞

普及促進部門	(独) 産業技術総合研究所　社会とＬＣＡ研究グループ 「付加価値に基づく環境効率指標の開発とその普及」
	(社) 電線総合技術センター 「電線分野における環境効率の普及促進活動」

(4) 特別賞

製品パフォーマンス部門	株式会社チクマ 「EARTHINK RECYCLE SYSTEM UNIFORM」
マテリアルフローコスト会計部門	キャノンファインテック株式会社 「「MFCA による廃棄物削減活動のインプロセス化」と「地域への MFCA 普及活動」」
	オムロン株式会社 「マテリアルフローコスト会計活用によるグループ全体での資源生産性向上への挑戦」
	積水化学工業株式会社 「積水化学グループ全事業所マテリアルフローコスト会計導入」

(5) 表彰式について

日時：平成 20 年 12 月 12 日（金）10:00～10：45

場所：東京ビッグサイト（エコプロダクツ展）

【選考委員】（敬称略）

	氏名	所属･役職
委員長	山本　良一	東京大学生産技術研究所教授
委　員	足立　芳寛	東京大学大学院工学系研究科教授
〃	君塚　秀喜	経済産業省産業技術環境局環境政策課環境調和産業推進室長
〃	辰巳　菊子	(社)日本消費生活･ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ･ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ協会理事
〃	中嶌　道靖	関西大学商学部教授
〃	水谷　広	日本大学生物資源科学部教授

【日本環境効率フォーラムについて】

日本環境効率フォーラム（会長：山本良一東京大学教授、事務局：（社）産業環境管理協会）は 2004 年 10 月、経済産業省の支援を受け、企業、学識者等の参加を得て、環境効率の普及と実用化を目的として設立されました。現在、50 社ほどの企業・研究所・大学等が会員となって、セミナーの開催、ワーキンググループ活動などを通じて、環境効率の実践を提案しています。

お問い合わせ先

事務局：日本環境効率フォーラム事務局

〒110-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目２番１号

社団法人産業環境管理協会　環境情報事業推進室

TEL／Fax：03-5209-7708 ／ 03-5209-7716

E-mail：eco-efficiency@jemai.or.jp